

原水爆禁止世界大会の取り組みが始まりました。

長崎実行委員会総会での土田弥生講演より



核兵器廃絶へ 2023年を飛躍の年に
原水爆禁止世界大会を跳躍台 をテーマに講演

今年の世界大会の日程は8月4日から9日。

テーマは、被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界を人類と地球の未来のためにということで行う。8月4日から5日、国際会議。8月7日は長崎開会総会、8月8日は分科会、8月9日閉会総会というプログラム。長崎メインの大会。

やはり今年は本当に重要な年。

その一つは、核兵器を巡って今、世界がどこの到達点にいるか、それを正しくつかむこと。やはり到達点を象徴するものは核兵器禁止条約、2021年1月22日に発効した。条約が国際法になった、核兵器が法的には全面的に禁止された。ここまで人類が到達したこと。これが大事だ。署名をした国が92カ国、批准国が68カ国、子れまでの化学兵器条約や生物兵器条約に比べても早い。昨年12月の国連総会では、核兵器禁止条約の参加を求める決議、5年連続で国連加盟国の6割を超える賛成で採択された。昨年6月には、禁止条約の第1回締約国会議が開かれて、ウィーン宣言と行動計画が採択された。

それは、核兵器廃絶を実現する道筋を示したようなもので、今年11月にニューヨークで第2回締約国会議が行われ、この1年間、行動計画の進捗が議論される。

いろいろ困難とか逆風が起きているけれども、世界は核兵器廃絶の方向に進んでる。そこに本当に核兵器廃絶を進めようとしている国々、国連そして、私達のようなNGOや平和団体、国会議員、学者たちが一堂に集まった。ここの世界の多数派の流れがある。確信にすることを強調。

そしてもう一つ変化は、NATO加盟国の国の代表、アメリカの同盟国の参加だ。大きな核兵器廃絶に進む

流れが成長している。同時に、核兵器廃絶を早めなくてはならない状況がある。世界で日本で。そのための諸国民の世論と行動を発展させる跳躍台としての今年の世界大会の重要性がある。



3/29 ロシアはベラルーシへの戦術核配備を撤回せよ！署名行動

原水爆禁止長崎県協議会2023年定期総会のご案内

☆とき 5月6日(土) 14時～16時

☆会場 長崎市立図書館メモリアルホール

(会場とオンライン参加のハイブリッドでの開催)

日本原水協は全国理事会で「2023年は、日本原水協がその役割を果たすべき極めて重要な年となる。被爆78年、日本原水協は核戦争阻止、核兵器全面禁止・廃絶、被爆者援護・連帯を一貫して掲げ続けてきた団体として、国連憲章にもとづく平和のルールと「核なき世界」の国際的合意を守り実現させる先頭に立つ。そして、日本の新たな戦争準備と大軍拡への暴走を阻止し、核兵器禁止条約に参加し、非核平和の役割を果たす国とするために全力をあげる。」と決意しています。新たな情勢の下で、被爆地長崎での運動を飛躍させる総会として成功させましょう。

原水爆禁止長崎県協議会2023年定期総会主な議事

☆基調報告 「原水爆禁止2023年世界大会の成功へ」 (仮題)

原水爆禁止長崎県協議会 代表理事 大矢正人

☆22年度の活動報告や決算、23年度の活動計画や予算、役員等、審議し決定します。意見交換や活動交流の時間も予定しています。多くの方の会場での総会参加を呼びかけます



長崎市立図書館
メモリアルホール
850-0032 長崎市興善町1-1